校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和２年 ２月７日(金) No37 号
文責　狭間卓史

「 もうすぐ 」

気がつけば一月も過ぎ、暦は二月。早いものです。毎日があっという間に過ぎていきます。あちこちで梅の花も咲き始め、季節の移ろいを感じています。

三年生教室にも卒業式までのカウントダウンカレンダーが掲示されています。一月後半から私立高校の入試が始まり、今週は公立高校前期（中高一貫）や県外私立高校の入試に本校三年生が挑んできました。それぞれの生徒が人生初めての入試にドキドキしながら、プレッシャーに押しつぶされそうになりながら、精一杯の姿を見せてくれています。

もうしばらく厳しい寒さは続きそうですが、それでも桜満開の春までもうすぐです。

【 ３年教室の掲示物 】

【寒さに耐えて春待つ蕾】→

「 暮らしの おへそ 」

先日、かかりつけの歯科医院でのことです。待合室の雑誌コーナーに「暮らしのおへそ」というタイトルの雑誌が置いてありました。タイトルに惹かれて手に取りましたが、そこには「習慣には明日を変える力がある」と記されていました。

編集者の言葉を借りれば、その人だけが持つ習慣や、その人の根っこを作るものを「おへそ」と名付けたとのこと。・・・なるほどうまい表現だなと思った次第です。その雑誌の中には様々な方々が、日々の暮らしの中で大切にされている習慣が書かれていました。

その習慣は、毎日の生活のリズムを作るものであったり、日々の生活をリセットするものであったりと、人それぞれの意味を持つのでしょうが、そこに共通するのは「良い習慣」は日々の生活を前向きな気持ちにしてくれるということではないかと解釈しました。

本校生徒にも「良い習慣」を身につけて欲しいと願っていますし、私自身も日頃の生活を振り返りながら、「良いおへそ（習慣)」を持ちたいものだと思った次第です。

「 今、出来ること 」

今週のことです。朝の交通指導の際に、市原小学校の市原先生から、「中学生の挨拶がやっぱ気持ちいいです」との言葉をいただきました。市原先生は同小の北里教頭先生と共に毎朝、校区内を走り回りながら登校指導をされていますが、その指導の中で、毎朝、立ち止まってきちんと挨拶してくれる中学生の姿がとても清々しくて気持ちがいいと誉めてくださいました。同じようなことは以前の校長室通信でもお伝えしたことですが、嬉しい報告でした。

私自身、雨が降る日や最近の冷え込む中での交通指導は、正直なところ心折れそうになる時があります。それでも、児童・生徒の気持ちの良い挨拶に、元気をもらえて続けることが出来る私がいます。

生徒には、自分たちの挨拶が誰かを元気づけ、爽やかな気持ちにしていることを知っておいて欲しいと思っています。そしてその挨拶が、この地域に暮らす方々をも爽やかな気持ちにさせていること、ひいては「今」の南小国町づくりにも貢献できていることに気づいて欲しいとも思っています。地域づくりは、近い将来、大人になって取り組むことだけでなく、中学生の今であっても出来ることはいくつもあると思う今日この頃です。

「 お待ちしています 」

来週、２月１０日(月)～１４日(金)は、本年度最後のオープンスクールです。日頃の本校生徒の様子を一人でも多くの方にご覧いただけることを願っています。お時間のご都合がつかれる時にぜひおいでください。お待ちしています。

【2月7日3時間目　三年生中学校最後の定期テスト】↑